

# めぐニュース

かぐめよし少年自然の家だより 令和6年4月発行

所の正門の正面に山が見える。国道に出る峠道にかかる山だ。名を少年山という。登ったことのない人も、かぐめよしに来られた方は、名前くらいは聞いたことがあるかもしれない。

入所の歓迎の曲は、後藤崇先生作詞の「ヤッホー かぐめよし」。出だしは、

「ヤッホー ヤッホー 少年山にひびく声・・・」

以前は、少年山登山というプログラムがあった。山中の見晴台と正門付近で、手旗信号でやりとりできるほど見晴らしがよかった。山頂付近からは、遠く福智山が望めた。

今は樹が大きくなり葉が繁り、展望は望めない。登山道は年に数回整備し、ボランティアの研修会などで使用している。

この少年山という名は、少年自然の家が名付けた。元々の名をおとめ山という。乙女ではない。御留山だ。立ち入ってはならないという意味らしい。

古くはかぐめよしは和紙の郷であったという。和紙の原料は三桮と楮（コウゾ）。和紙はお殿様に献上するためのもので、その材料となる三桮、楮を植栽していた山の立ち入りを禁じたということらしい。江戸時代には、お殿様の狩りをするための山など、全国には、たくさんの御留山があったらしい。

昔植えられていた影響か、今もかぐめよしの山中には三桮の木が点在する。所には、往時を偲びたくさんの三桮を植えている。植えて13年になるが、2メートル近くまで大きくなった。2月下旬から咲き始め、今も手鞠のような花を、几帳面に三つずつに分かれた枝先につけ、灰かに甘い薫りを漂わせている。

新年度がスタートしました。かぐめよしの周りの山々に子どもたちの声が響きますように。皆様のお越しをお待ちしております。



## お世話になりました！

**松本 和彦**  
(まっつん)



「こりゃ、遠いわ！」 初めて「かぐめよし少年自然の家」に来所したときの感想です。それから、早半年、朝のさわやかな鳥のさえずりが春の訪れを知らせる時節になってきました。今までの人生、こんなに五感で季節を感じたことはなかったように思います。ほんとに貴重な体験・経験をさせてもらい、山口所長をはじめ所員の皆様には心から感謝しております。「もし少年自然の家」でも「出会い」を大切にしていきたいと思います。もしでも、気軽に声をかけてくださいね！！

# 主催事業のお知らせ 4月~7月

	事業名	時期	対象者・人数
4月	かぐめよし自然少年団①	4月13日(土)~ 4月14日(日)	かぐめよし自然少年団に 所属する団員
	観天望気学習キャンプ	4月20日(土)~ 4月21日(日)	小学5・6年生 20名
5月	春の福智山登山	5月5日(日)(祝)	小・中学生とその保護者20名
	かぐめふるさと交流	5月18日(土)~ 5月19日(日)	中学生以下とその保護者6家族
6月	かぐめよしバンブーキャンプ	6月1日(土)~ 6月2日(日)	小・中学生とその保護者20名
	家族でキャンピング&アウトドアご飯	6月8日(土)~ 6月9日(日)	中学生以下とその保護者20名
	かぐめよし自然少年団②	6月29日(土)~ 6月30日(日)	かぐめよし自然少年団に 所属する団員
7月	水環境体感キャンプ 事前研修会	7月6日(土)~ 7月7日(日)	小4~中3まで15名
	親子でかぐめよしダムカヌー	7月13日(土)	小3~中学生とその保護者20名

主催事業の募集は全て市政だよりに掲載します。

応募は市政だよりをご覧ください。

## New Staff

### 大橋 美都江 (とめさん)



3月よりかぐめよし少年自然の家にやってきました、大橋です。キャンプネームのとめさんは、ぽんぽこさん(上原さん)から「おとめ座だからとめさんね!」という理由でつけてもらいました。山登り、カヌー、水遊び、何でもチャレンジしていきます。好物はししゃも。睡眠時間は9時間超え。いつでもどこでも寝ることができます。よろしくお願いします。

### 北九州市立かぐめよし少年自然の家

住所:〒803-0267

北九州市小倉南区大字頂吉451-1

電話:(093)451-3111 FAX:(093)451-3133



Facebook



Instagram





# 主催事業報告



## 第5回かぐめよし自然少年団

正月明けとあって、1年の無病息災を願い、ご先祖が年神様となって宿っていた鏡餅を割りました。どんど焼きもして、今年も元気いっぱい活動します。

百人一首や羽根つきなどのお正月遊び、それにお餅つき。初めて杵でついたお餅は、白餅・イチゴ大福・草餅・餡餅など、どれもいつも以上に美味しかったようで、みんなニコニコして食べました。まさに、正月三昧の2日間でした。



## 竹チッパーってなんだ？放置竹林対策事業



北九州市響灘ビオトープの安枝園長を講師にお迎えして行われた「竹チッパーってなんだ？」には、放置竹林対策に興味を持つ学生さんなど5名が参加。里山の現状や対策などの講義を真剣に聞いていました。竹筒ご飯に舌鼓を打った後は、竹チッパーの操作体験。みなさんちょっと緊張気味。竹を粉碎する大きな音に驚いていました。お土産？の竹チップ。どんな風に活用されたのかな？

## 家族みんなでだんらんラン！

ただでさえ寒い2月。平地よりさらに寒いかぐめですが、薪ストーブを囲んで、体も心もホカホカ。ストーブで作ったローストビーフも、みんな満足気でした。夜には、ストーブの前でレクリエーション。いろんなジャンケンゲームで、初めて会った家族同士も、お互いに仲良くなって大いに盛り上がりました。



## 第3回ボランティア研修会



今年最後のボラ研は、少年団などの活動の合間に、ボランティアさん達の活躍の場を増やせ

ればと、レクリエーションの講習会を行ないました。体を使ったジャンケンや、手遊びをした後は、野外調理の実習。あっという間に半日が過ぎました。

これからも、様々な主催事業でのサポート、よろしくお願ひします！

## 第6回かぐめよし自然少年団



少年団の締めくくりは、恒例の福智山登山。山頂近くでは雪も降り始めましたが、どの子も弱音を吐くことなく元気よく最後まで歩き通しました。また、最後のかぐめリンピックは、ロープワーク検定。1年間練習した巻き結びともやい結び。前日も空き時間に練習し、全員検定に合格して、記録証を手に入れました。



※1月21日に予定していました「親子でワクワク！工作教室」は、参加者がいなかった為、中止いたしました。

# 頂吉凶鑑

～第35回～

## 無患子 (ムクロジ)



今回ご紹介するのは、無患子 (ムクロジ) です。かぐめよしでは、高倉神社から所の方へ降りてくる道路脇に大きな木が2本、所の正門の横に1本あります。秋にはイチョウに負けず黄色に美しく染まります。

ムクロジの名前の由来は少々ややこしいです。牧野植物大図鑑によるとモクゲンジの漢名「木欒子」、「無患子」を誤って使ったことからとあります。「木欒子」は、「モクランシ」と読むのでしょうか？これが転訛して「ムクロジ」になった。モクゲンジの項を見ると、ムクロジの漢名が誤って使われたものとあります。ではムクロジの正しい漢名って？結局調べてみても堂々巡りで分かりませんでした。もう一つの疑問が学名 *Sapindus mukurossi* Gaertn です。種小名が *mukurossi* これがムクロジと無関係とは思えません。命名者はウィキペディアによるとドイツの植物学者ヨーゼフ・ゲルトナーで日本名ムクロジからつけたとありますが、そんなに日本名が世界に轟いていたのでしょうか？おしる分布していた他の国の言葉からきたと考えるのが自然ではないでしょうか？ *mukurossi* からムクロジになったと・・・

このムクロジの種子は、みなさんどこかで目にしたことがあると思います。羽根つきの羽根は、ムクロジの種子に鳥の羽をさしたものです。これは、羽根を、病気を媒介する蚊を、食べてくれるトンボに見立てたことによります。羽根つきには、トンボを飛び交わせ無病息災を祈念する意味があったのです。種子を包んでいる果皮にはサポニンが含まれ、水につけて揉むと泡立ちます。これを石鹼の代用としたようです。調べてみると、今も、天然石鹼やシャンプーとして売られていました。

古くから人間と関わりのあったムクロジ、以外に知られていないのが食用です。炒って食べるとなかなか美味しい。

若松の白山神社には、このムクロジの古木が保存樹として指定されています。洞が大きく空いていて、コブがごつごつして、ものすごく迫力があります。機会があれば、是非ご覧になってください。